

平成 18 年 4 月 24 日

各 位

会社名 日本ユニコム株式会社
 代表者名 代表取締役社長 河島 毅
 (J A S D A Q ・ コード 8 7 4 4)
 問合せ先 常務取締役 二家 英彰
 TEL 0 3 - 5 6 2 3 - 5 1 1 1

平成 18 年 3 月期決算速報値 (連結 ・ 個別) に関するお知らせ

平成 18 年 3 月期の決算につきましては、5 月 18 日に正式発表 (連結 ・ 個別) の予定ですが、その概数がまとまりましたので、下記のとおり速報値として開示させていただきます。

記

1 . 平成 18 年 3 月期決算速報値 (連結)

(金額の単位 : 百万円)

	平成 18 年 3 月期 決算 速報値 (A)	平成 17 年 3 月期 決算 実績 (B)	前期比 (A) / (B) (%)
営業収益	19,088	19,378	98.5
経常利益	3,311	3,689	89.7
当期純利益	2,611	331	786.9

2 . 平成 18 年 3 月期決算速報値 (個別)

(金額の単位 : 百万円)

	平成 18 年 3 月期 決算 速報値 (A)	平成 17 年 3 月期 決算 実績 (B)	前期比 (A) / (B) (%)
営業収益	12,748	14,821	86.0
経常利益	1,542	3,865	39.9
当期純利益	1,048	885	118.5

3. 業績概要（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

（連結）

当連結会計年度における業績につきましては、中核事業である商品先物取引業の委託手数料収入が、個別業績において述べておりますように市場環境の影響を受け低調だったことや前期末に連結子会社ジャイコム株式会社を売却したことで同社の収益が加算されなくなったこと等が影響し減収となりました。しかしながら、通貨証拠金取引業および証券業において、マーケット環境が良かったことや顧客基盤が順調に拡大したこと等から、通貨取引関連収益、証券業収益がそれぞれ大幅増となり、全体として減収幅は抑えられる結果となりました。

この結果、営業収益は 19,088 百万円（前期比 1.5%減）、経常利益は 3,311 百万円（同 10.3%減）、当期純利益は 2,611 百万円（同 686.9%増）となる見通しです。なお、当期純利益が大幅増となっておりますのは、子会社において有価証券売却益があったことや当期は前期のような大きな特別損失が発生しないためであります。

（個別）

商品先物取引業においては、昨年 5 月の商品取引所法の改正を受け、商品取引員各社がその影響を見据えるために慎重な対応をとったことや石油市場が値動きの荒い相場となり石油関連銘柄の投資人氣が離散したこと等から、当期の全国商品取引所総出来高が 1 億 774 万 4743 枚（前期比 20%減）となりました。この影響を受け、当社の委託売買高も石油市場において減少した結果、当期の委託手数料収入が減収となりました。全体としましては、連結業績でも述べておりますとおり通貨取引関連収益が好調であった結果、減収幅は抑えられ、営業収益は 12,748 百万円（前期比 14.0%減）、経常利益は 1,542 百万円（同 60.1%減）、当期純利益は 1,048 百万円（同 18.5%増）となる見通しであります。

(注) 上記お知らせの内容は、あくまで決算集計中の概算・速報値ベースのものであり、後日、変更する可能性がありますのでご了承ください。

以 上